

校長室より

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼教之

「二松から飛翔へ」～一期一会～

祝 76期生 卒業 ～248名の巣立ち～

3月1日(日)にご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、二松学舎大学附属高等学校 第76回 卒業証書授与式を挙行いたしました。暖かな日差しの射す中、厳かさの中に温かみのある卒業式となりました。

卒業証書を授与しました76期生248名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。在学中はさまざまなご協力をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

入学当初は、まだマスク越しの生活が当たり前の頃でした。不安もあったことでしょう。従来の伝統を受け継ぎながら数々の制約の中、工夫を加えて学校生活を送る皆さんに頑張れとエールを送り、前を向いて歩もうとする皆さんの姿は、本当に頼もしいものでした。時間とともに学校の日常は少しずつ戻り、行事や部活動、友人との語りも重ねられるようになりました。部活動で目標に挑み続けた日々、思うような結果が出ず悔し涙を流した日、難しい課題に向き合い続けたこと、友人と机を寄せ合って弁当を食べた昼休み、何気ない会話で笑い合った時間。その一つひとつが、かけがえのない宝物になったことでしょう。それぞれの胸に刻まれた二松学舎での3年間の、「本当に楽しかった」と振り返られるものであったなら、これほど嬉しいことはありません。

卒業式前日の賞状授与式の登校日に、久しぶりに皆さんの顔を見ることができ、変わらぬ笑顔に安堵しつつ、少しの寂しさも込み上げてきました。まさに「一期一会」。出会いと別れは人の世の常ですが、この出会いを、どうかこれからも大切にしてください。



卒業生の皆さん、これからいよいよ新しい生活に向けての第一歩を踏み出すこととなります。二松学舎で学び、培った力を胸に、自分らしい翼で大きく世界へ羽ばたいてください。皆さんの未来が希望に満ちたものであることを、心から祈っています。

そして、これからの人生で嬉しい時、苦しい時さまざまな場面で二松学舎のことを思い出し、機会があれば訪れてください。教職員一同お待ちしております。

卒業おめでとう。いつまでも応援しています。

たくさんのお祝い、祝電をいただきましたことこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

卒業式後に開催された暫別会懇親会。父母の会の皆様には心温まる会にお招きいただきましたこと、感謝申し上げます。

担任からの挨拶は、生徒たちとのエピソードを交え、愛のこもった内容でした。教室での最後のHRは担任とクラスの生徒だけの秘密ですが、濃密な時間を過ごしたことで、1階ホールでは記念撮影をせがまれたり、卒業アルバムへのメッセージを頼まれたりといつまでも名残惜しそうでした。

いつまでも生徒に囲まれ、だから担任は辞められないのです。

